



【YouTube】QRコードを読み取ると本会議の映像が見られます。



(動画時間) 127分
1:32:03 委員長報告(脱炭素)
1:38:50 委員長報告(広聴広報)

結果報告は
こちらから



下川町議会脱炭素推進調査特別委員会は、令和3年下川町議会定例会3月定例会議初日において、町が「ゼロカーボンシティ」もかわの宣言を行い、同定例会議において議会も「ゼロカーボンシティ」もかわ宣言の推進に関する決議を行ったことから、実効性のある脱炭素社会を実現できるよう推進・調査するため、令和4年3月18日に設置しました。
令和4年下川町議会定例会3月定例会議において、これまでの活動の結果報告をいたしましたので、その内容を掲載します。全ての結果報告については、町のホームページにアクセスするか、次のQRコードを読み取ると見ることができ

下川町議会脱炭素推進 調査特別委員会 経過報告

◆調査結果

当初、下川町地球温暖化対策実行計画の策定は、令和5年3月に計画案報告の予定であったが、令和5年6月頃になるとのことであった。第6回特別委員会では、さらに遅れ7月頃になるとのことであったため、今定例会期中に実行計画に関しての結論は出ないものと判断したところである。

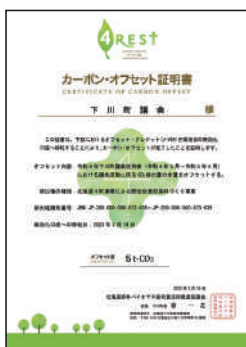
以上のことから、実行計画の策定に際して、さらに住民参加による議論を深めていただき、SDGs 未来都市しもかわに相応しいよりよい実行計画の策定となるよう望むものである。

令和4年下川町議会定例会5月臨時会議において、「下川町議会における脱炭素(ゼロカーボン議会)の行動指針に関する決議」を採択したところである。

議会活動における二酸化炭素の排出量の削減に努め、削減できなく排出してしまう二酸化炭素については、北海道森林バイオマス吸収量活用推進協議会が保有するオフセット・クレジット(J-VÉR)により相殺して、二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボン議会」を進めてきた。その結果、令和4年5月から令和5年2月までの電気使

用量における二酸化炭素排出量は、283 kg・CO₂会議などにおける交通利用での二酸化炭素排出量は、3,735 kg・CO₂となったところである。しかし、オフセットの実施には、令和4年下川町議会定例会の全会期中を対象とすることが決議の趣旨にも適うものであることから、今後の3月及び4月の活動を排出予定量として、電気及び交通利用を合わせて、225 kg・CO₂と見込み、会期中の合算は、4,243 kg・CO₂と積算するものである。従って、クレジットとして購入する会期中の議会活動による二酸化炭素排出量を5t・CO₂としたところである。

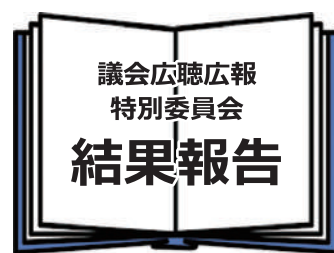
これら排出された二酸化炭素(予定量を含む)については、カーボン・オフセットを3月14日付けで行ったところである。



結果報告は
こちらから



議会広聴広報特別委員会は、令和元年第4回下川町議会臨時会において、議会広聴及び議会広報に関する調査・研究、編集並びに発行に関することを目的とし、任期を令和元年5月10日から令和5年4月30日までとして設置しました。これまで、議会だよりの発行や議会広報研修会への参加、町民と議員との意見交換会である井戸ばた会議などの活動を行ってきました。
令和4年下川町議会定例会3月定例会議において、これまでの活動の結果報告をいたしましたので、その内容を掲載します。全ての結果報告については、町のホームページにアクセスするか、次のQRコードを読み取ると見ることができ



◆活動結果

これまで、議会だよりを合計15号発行、井戸ばた会議を4回、議会だより発行に関する会議を25回開催し、議会モニターや高校生モニター、井戸ばた会議での意見なども参考に、紙面や活動内容を充実させるべく、検討を繰り返して進めてきた。

この間、コロナ禍もあり十分な意見交換の場を設置するには至らなかった。しかし、メールやファックスを活用したご意見募集を試験的に実施し、新たな意見交換の場として更に調査研究を行う必要がある。

井戸ばた会議は、参加者数が伸び悩んでいるため、名称の変更や運営方法を検討する時期にきている。

本会議の録画配信は、ほぼ即日にYouTube上で公開することができ、ライブ配信に準じた取り組みができた。



第15回井戸ばた会議の様子